

公益財団法人 未来のつばさ財団  
特定非営利活動法人 エキスパート児童福祉支援協会

# 未来のつばさ



## INDEX

P.2 理事長あいさつ  
就職する子ども達を応援したい  
一人でも多くの子ども達のために

P.3 つばさTopic  
公益財団法人未来のつばさ財団 諮問委員  
児童養護施設 鳥取こども学園 園長 藤野 興一  
社会的自立が困難な現状

P.4 子ども達からの手紙  
夢に向かってがんばります！

P.6 先輩からのメッセージ  
社会で活躍する先輩たち

P.7 紹介ひろば  
児童養護施設 子山ホーム

Vol.14  
2012.6

## 就職する子ども達を 応援したい

「未来のつばさ財団」は公益財団法人としての認可を得て、児童養護施設や里親のもとを巣立つ子どもへの自立支援資金の提供事業を開始いたしました。

その対象となる子ども達一人ひとりには明るく健やかで、自立に向けて意志を持った素晴らしい子ども達です。高校在学中に勉学に励むのはもちろんのこと、アルバイトをしたり、社会人として暮らすための自炊トレーニングなど、彼らなりに自立に向けた準備を重ねては来ていると思います。しかしながら、住むところの確保に始まり、社会人としての身支度、当座の生活資金など、この時期にまとまった資金が必要になることは容易に想像がつかず、故

公益財団法人  
未来のつばさ財団  
理事長 吉田 倅子



に、多くの団体が奨学金制度を提供し、それを享受できる子どもが居ることを喜ばしく思っています。一方で、就職をする子どもへの奨学金制度を運営する団体はほとんど無いとお聞きしており、その必要性を痛感するとともに支援制度を盤石にするために、財団法人を設立、公益化を図り、就職をする子どもへの支援からスタートさせていただいたものです。

自立育英奨学金制度の安定的な運営はもちろんのこと、社会全体で子ども達を守り育てるという意味でも、この活動を広く紹介し、支援を呼びかけるための啓蒙活動も役割として進めて参りたく思います。皆様のご協力、ご支援をお願い申し上げます。

## 一人でも多くの 子ども達のために

当協会では、児童養護施設等を巣立ってゆく子ども達の自立支援のお手伝いをしてきており、2011年度においても進学を希望する子ども達へ育英奨学金の提供を実施いたしました。応募者は190名にのぼりましたが、育英奨学金の提供を決定した子どもは68名となっております。育英奨学金を提供できる人数には限度があるため、選考委員会で厳正な審査を実施させていただいております。協会としては出来るだけ多くの子どもに支援を行いたいと思っておりますが、まだ充分には支援できていないと認識しております。

昨年度は一人でも多くの子ども達に育英奨学金の提供を行うために、「書き損じハガキ回収キャンペーン」を実施し、エキスパートアライアンス(株)、

特定非営利活動法人  
エキスパート児童福祉支援協会  
理事長 上田 伸夫



アイリオ生命保険(株)の皆様やその活動の賛同者のご好意により、19名分の育英奨学金に相当する290万円の特別寄付金が寄せられました。その結果として、育英奨学金の提供者は当初予定の50名に対し、68名とすることができました。

また、育英奨学金を受けられた子ども達から、多くの感謝の言葉が寄せられており、その一部を本号でもご案内いたしております。育英奨学金は少額ではありますが、進学する子ども達に役立っていることがお判りいただけるものと思います。

当協会では、この活動は継続してゆくことが非常に重要であると思っております。今年度も、一人でも多くの希望者にお応えできるよう、努めてまいりたいと思っております。

## 社会的自立が 困難な現状

～ 2011年度自立支援資金制度へのご支援に感謝申し上げます～



公益財団法人未来のつばさ財団 諮問委員  
児童養護施設 鳥取こども学園 園長  
藤野 興一



### ■ 入所児童の高卒後の 進路について

児童養護施設の入所児童に高校進学費用が公的に出されるようになったのが1973(昭和48)年4月、鳥取こども学園で「18歳までの養護保障と高校全入」を開始したのが1978(昭和53)年3月、施設を出て以降、自殺してしまったA君、Bさんの葬儀の中から「何時でも帰れるOBの家を作ろう」と自立援助ホームを開設したのが1984(昭和59)年1月、大学・高等専門学校への進学を目指し、「鳥取県児童養護施設協議会あしながおじさんの会」を組織して、高卒後、初めて専門学校へ進学させたのが1987(昭和62)年4月であった。

2011(平成23)年5月1日現在の厚生労働省の統計によれば、児童養護施設の高校・専修学校進学率95.7%(全国98.4%)、大学・専修学校進学率23.0%(全国77.3%)、自立援助ホームも82ホームとなっているという。隔世の感があるとは言え高卒後の進路はまだみだである。

### ■ 自立支援・育英奨学金 制度の意義とは

ところが先日、私がアパートの保証人をしている30代のC君の家主さんから家賃滞納の督促が来て久しぶりにC君と連絡を取り愕然とすることがあった。C君は家賃を滞納して電気も水道も止められ、アパートの前の公園のトイレを利用してホームレスの様な生活をしているというのである。彼はあしながおじさんの会や育英会の奨学金を受けて四年制大学の2部を卒業している。彼と話しているうちにこれだけの借金をして大学を出たことがC君の為になったのかどうか疑問だという話になった。若いC君にとって社会人へのスタートが大きな借金を抱えたスタートとなったわけで、施設出身児童の社会的自立がいかに困難かを物語るものだと思う。未来のつばさ財団、エキスパート児童福祉支援協会の自立支援資金・育英奨学金制度が一切返済の義務の無い形で実施されている意義を再確認し、支援くださっている方々に感謝申し上げたい。

子ども達からの手紙

進学や就職をする、たくさん子ども達を支援することができました。子ども達からも、感謝の手紙が寄せられています。

# 夢に向かってがんばります！



育英奨学支援

外国語大学で今まで以上に一生懸命学業に励みたいと思っています。4年間の大学生活の中で、将来に対する不安に押しつぶされそうになることもあると思いますが、その時は、**客室乗務員になる夢**を決して見失わず、貴協会をはじめ多くの方々に支援していただいていることを胸にとめ、感謝の気持ちを忘れず、がんばっていききたいと思います。

兵庫県 二葉園 出身

育英奨学支援

これから**進学をし、新しい土地で一人暮らしをする**私にとって、この支援はとても励みになります。昨年、東日本大震災が起こり、たくさんの方が被災されました。今でも支援を続けている方がいて、被災地だけでなく、福祉施設などにも支援をしている方もいるということを知り、これからも勉学や生活に励んでいきたいと思います。

佐賀県 聖母園 出身

自立支援

私の仕事は、生協から決められた数のチラシを丁合して封入数確認をして発送していくことです。内定をいただくまでに繰り返し実習にいき、学校では仕事をする力をしっかり出して頑張って内定をとることができました。これからの**新しい社会での生活、日常生活も両立してしっかり頑張っていきたい**です。ありがとうございました。

熊本県 熊本天使園 出身



育英奨学支援

私は母子家庭だったため、経済的な不安がありました。これから2年間、短大で**保育士をめざして勉強していきます**。多くの資格を取り、**社会に貢献できる大人になりたい**です。その思いが、今回ご支援をいただいたことで、より一層大きくなりました。

佐賀県 済昭園 出身

自立支援

4月からパン屋で働きます。昨年は10日間ずつ3回の実習をしました。実習の中で、生地作りから順番に多くのことを教えてもらいました。実習で学んだことを忘れずに、**一人前のパン職人になれるように諦めず、挫けずに働いていきたい**です。支えてもらった人たちに自分の作ったパンを食べてもらえるように一生懸命働いて、配達できるようにがんばります。

神奈川県 子どもの園 出身



育英奨学支援

私は4月から夜間の専門学校に進学します。日中は新宿にある京王プラザホテルで働くことに決めました。夜間は、**夢である電車の運転士になるために鉄道サービス科を専攻し、専門知識を学びます**。働きながら学校へ行くことは、想像以上に大変だと思いますが、たくさんの人が夢を応援してくれているので、あきらめずに最後まで一生懸命がんばりたいと思います。

秋田県 感恩講児童保育院 出身

自立支援

私は東京にある**介護老人保健施設で働きます**。新しい生活に対し、期待や不安が数多くあります。ですが、私の周りにはたくさんの方がいて、決して一人ではないということを知りました。自分の夢に向かって、一步一步進んでいきたいと思います。

岩手県 一関藤の園 出身



自立支援

就職先が決まり、春からお菓子の工場です仕事することになりました。**私の夢はパティシエになること**なので、お菓子の工場でパティシエになるための技術や知識を勉強できたら良いと思います。本当にありがとうございます。大切にに使わせていただきます。

東京都 東京育成園 出身



育英奨学支援

私は高校卒業後、大学に進学します。進学先では自分の興味のある**土木分野を学ぶ**こととなります。また、勉強だけでなく、いろんな人と会うことで人間的にも成長したいと思います。今の私があるのは皆様をはじめとしまして、多くの人たちの支えがあったからだと思います。そのことを忘れることなく努力し、夢を実現し少しでも恩返しさせていただければと思っています。

愛媛県 あすなる学園 出身

2011年度 支援受給者数

進学者：応募者 190名  
支援者 68名  
就職者：応募者 268名  
支援者 103名

都道府県	進学	就職	合計
北海道	4	5	9
青森県	1	0	1
岩手県	1	3	4
秋田県	3	4	7
山形県	1	0	1
茨城県	0	2	2
群馬県	0	5	5
埼玉県	1	1	2
千葉県	0	1	1
東京都	15	10	25
神奈川県	3	4	7
新潟県	0	1	1
石川県	2	1	3
山梨県	1	0	1
長野県	0	1	1
岐阜県	1	8	9
静岡県	1	4	5
愛知県	2	6	8
三重県	0	3	3
京都府	1	0	1
大阪府	8	3	11
兵庫県	2	4	6
奈良県	4	4	8
鳥取県	1	0	1
岡山県	0	2	2
広島県	1	3	4
山口県	0	2	2
徳島県	0	2	2
愛媛県	1	3	4
高知県	0	1	1
福岡県	3	5	8
佐賀県	3	1	4
長崎県	4	1	5
熊本県	1	8	9
大分県	0	1	1
宮崎県	1	3	4
鹿児島県	1	0	1
沖縄県	1	1	2
合計	68	103	171

# 社会で活躍する先輩たち

未来のつばさ財団、エキスパート児童福祉支援協会の支援を受け、社会人として成長している先輩から、今まさに施設を巣立っていこうとする子ども達へのメッセージです。



## 夢が叶って

2006年大村子供の家退園生  
井手橋 愛美(看護師)



私は小学校の頃から看護師になりたいという夢を持っていました。学費も高く働きながら学校へ通ってもギリギリで、あきらめようかと考える事も何度もありました。奨学金をいただき、寮のある病院を学校の先生方に一緒にさがしていただき看護学校に入学することができました。入学してからも大変でストレスがたまり、うつ病にもかかりました。学校を卒業しても働かせてもらえる場所があるのか不安もありましたが、今の職場にすべてを受け入れていただき、今准看護師として働いて5年目になります。患者様が元気になって退院していったり、出来なかった事が努力して出来るようになったりすることで私自身も元気をもらい、楽しく仕事をしています。

## ●施設の先生から

井手橋さんは2006年に大村子供の家を退園しました。看護学校は病院の寮に住み込み働きながらの通学でした。厳しい医療の世界、患者さんの対応や職場の人間関係など、悩みも多かったようですが、学校の先生方の支えもあり何とか卒業し資格も取得する事が出来ました。今は自活し、入院患者の方たちの看護に当たっています。必要なときは休暇でも出勤する状態で、仕事一筋がんばっています。出来ればそろそろいい人を見つけて幸せな家庭を築いて欲しいと願っています。

大村子供の家 福崎 洋子先生

## 正解と不正解

2006年くすの森退園生  
小峯 豊(会社員)



「施設に入ったから不正解」そんな風に悩む時期があった。正解と呼べる人生では無く不正解な道を歩んでいると常に自問自答し正解か不正解かの答えを求めて施設での生活を過ごしていた。しかし施設を退園する頃に改めて過去を見た時に自問自答に決着が着いた。「正解」これが自分なりの答えだった。過去を振り返るとどんな事でも今に繋がっている。その時は不正解と思った事も今は正解だったと思える。その時は辛くても後に得る物があった。施設の先輩として言えることは何も何一つ無駄は無いという事。これから退園を迎える後輩には過去の足跡を見つめ直し自分なりに得た物を胸に岐路に立ってもらいたいと思う。

## ●施設の先生から

小峯くんは、くすの森を2006年度に退園致しました。小峯くんはくすの森に在園している時から、施設で生活する事に、大きな悩みと葛藤を抱えながら生活してきました。今は、結婚し、子ども生まれ、父として立派に生活しております。小峯くんのメッセージは、現在施設で大きな悩みを持ちながら生活している子ども達へ、温かい励ましのメッセージになると思います。

くすの森 小澤 宗弘先生

## 後輩たちへ

2006年度大洋学園退園  
佐藤 春加(看護師)



私は7年前看護学校に入学し、今看護師になり4年目になります。今当たり前前に看護師として働くことが出来ていますが、看護師になりたいと思った時、いろんなことが支障となり、何度も進学を諦めようかと思いましたが、一般の家庭の人たちと比べたら、乗り越えなければいけない壁が本当にたくさんありました。でも、私は今こうして看護師としてここにいます。自分が努力してきたことが、今では誇りに思います。自分の努力や思いが強ければ、たくさんの方が応援してくれます。だから、夢を持ち続けて欲しいし、夢を叶える努力も絶えず続けて欲しい。思いが本物ならば、たくさんの方が支えてくれます。諦めないで頑張ってください！！

## ●施設の先生から

佐藤春加さんは、2006年度に大洋学園を退園し、横浜の国立病院機構横浜医療センター付属看護学校に進学しました。大洋学園には幼児の頃から高校3年生まで生活し、高校生の時には部活と勉強の両立に加え、早朝の新聞配達の日も3年間続けました。責任感が強く、笑顔が素敵な彼女は、看護師になって日々がんばっています。

大洋学園  
児童指導員 千葉 はるか先生

## 紹介ひろば

支援した子ども達が生活した施設の先生方に施設内の様子や子ども達の様子をうかがいました。

# 児童養護施設 子山ホーム

### 施設データ

- 施設名称 子山ホーム
- 施設長 森田 雄司
- 所在地 千葉県いすみ市
- 経営母体 社会福祉法人 チルドレンス・パラダイス
- 種別 児童養護施設



## 「親代わりの保育士を中心に小規模ホームで生活する子ども達」

子山ホームは、汐の香りとオゾンに満ちた海を見下ろす丘の上にあります。「子山」という名は、1949年、ルーテル教会宣教師ミス・エーネ・パウラス先生が最初に開設した松戸市小山にちなみ、子ども達が集まるホームという意味を込めて付けられました。パウラス先生の信仰を受け継ぎ、キリスト教精神に基づいた自由と愛情のうちに個々の性格に応じた指導をするため、創立当初から小舎制をとり、2歳から19歳までの子ども達67名が、合計10のホームに分かれて生活しています。「小舎制が熟成しているホームといえますが、その良さ大変さを実感しているところです」と語るのは森田雄司園長。住み込みで父母代わりをする担当保育士のもと、各ホーム6～8名が家族のように暮らす中で、深い愛情も育まれると同

時に、ちょっとしたボタンのかけ違いから、強い葛藤が生まれる場面も少なくないとのこと。「保育士が孤立しないよう退職者や周辺の教職経験者に呼びかけ、夜間の支援などでサポートしています。また、ソフトボールやキャンプなどで積極的に地域交流を図るようにしています」。学生時代から施設の住み込みボランティアに参加し、ファミリーグループホームを運営していた経験もある森田園長は、「どんな仕事に就いてもかまわないから、強くたくましく、したたかに生きてほしい。彼らにとって幼い頃から育ったこのホームは「帰ってくる場所」です。私自身も、ここで大好きな人達とともに、使命感を失わず、長く暮らしていきたいと思っています」

## 先生からのメッセージ

### 「当たり前の営みを見守ることの大切さ」



主任保育士  
山田 洋子先生

本園の「すずらんホーム」室で、小学2年生から中学3年生までの男女6人と暮らしています。各ホーム、担当保育士の個性が出るものですが、私のホームは一言で言って、「なんでもいい」かな。ほとんどの子が何らかの発達障害を持っていますが、あまり深く考えず、子ども達のペースに合わせ、ストレスを生まないよう心がけています。いま一番の課題は「自立」ですね。頼るべき親もなく、身元を保証するものを持たない子ども達は、どうしても将来について自分で考えるということ避けがちです。そんなときは敢えてギリギリまで手を貸さないようにしています。考えて考えて、自分の進むべき道を見つけれたら、それだけ強くなれるわけですから。私自身の転機は、7年前、両親を相次いで亡くしたとき。親を失うということについて、子ども達の本当の喪失感というものをようやく心から理解できました。両親の闘病中の支えになってくれたのも子ども達です。どんなに辛いことがあっても、子ども達の生活は変わらず続いていく。笑ったり泣いたり当たり前の営みを見守り続けることは、私にとっても大切な糧となっているのです。もちろん、単身赴任を許してくれる夫にも感謝しています。

ホームページを、ぜひご覧ください。

## 公益財団法人 未来のつばさ財団

応募要項や施設の先生・施設を退所した先輩からのメッセージをご紹介します。

未来のつばさ

検索

<http://mirainotsubasa.or.jp/>



施設の先生からの応援メッセージを、動画でご覧いただけます。

## NPO法人 エキスパート児童福祉支援協会

応募要項や会報誌「未来のつばさ」を掲載しています。

エキスパート児童

検索

<http://www.ex-child.or.jp/>



これまで発行してきた会報誌をご覧ください。



公益財団法人

未来のつばさ財団

〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町10-10  
日本橋インテリジェントフラッツ402  
電話:03-5642-7890 FAX:03-3249-7870  
E-mail:info@mirainotsubasa.or.jp



特定非営利活動法人

エキスパート児童福祉支援協会

〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町10-10  
日本橋インテリジェントフラッツ402  
電話:03-5642-6330 FAX:03-3249-7730  
E-mail:info@ex-child.or.jp